



地域資料室の紹介 ～何ができるの？～

四日市市立図書館の2階奥にある地域資料室。

何があるのか、どんなことができるのか、ここでちょっとご紹介。

入りにくい場所かもしれませんが、気になったら是非来てみてください。



地域資料って何があるの？

四日市市、三重県に関連する資料を地域資料としてたくさんあつめています。

専門的な論文や四日市市の各地区の郷土史、三重県の観光ガイドブック、
雑学本、趣味本、小説、学習まんが・・・などと幅広いラインナップ！

調べもの相談

四日市市や三重県に関することは、
地域資料室の職員におたすねください！
図書館の資料をつかって、調べもの
お手伝いをいたします。



こんな資料もある！

「YOUよっかいち」「よっかいちai」などの
フリーペーパーや、地元で発行された文芸誌、
地区の広報、公共施設のおたよりなど…
地域資料室で見ることができます。

「ちゃんねるよっかいち」の貸出

市の広報番組「ちゃんねるよっかいち」のDVDの貸出を地域資料室で受け付けています。他にも、地域の歴史や祭りに関する視聴覚資料がございます。
詳しくは、地域資料室の職員におたすねください。

「地域資料室プチ展示」

カウンター前のスペースでさまざまな地域資料を紹介。気になる本に出会えるかもしれません。
過去の展示は四日市市立図書館のホームページでご覧になれます。

地域資料室のちょっと読んでほしい本



『三重の算数ものがたり』 三重県算数数学教育研究会編 昭和59年発行(L410)

「三重の〇〇ものがたり」のシリーズは、子ども向けにそれぞれの分野ごとに刊行されました。中でも算数は類を見ない着眼点の本です。

三重県の歴史や産業などが数、量、形など算数の視点で書かれています。

大入道の着物が座布団の何枚分であるか？なんて、この本じゃないと載ってないと思います。結局何枚分なのかは本を読んで確かめてみてくださいね。

図書館内のどこかに写真とレリーフが飾られています。さがしてみてください



四日市市立図書館の恩人

熊澤一衛

熊澤一衛(くまざわ いちえ) ってどんな人？

三重郡河原田村の出身です。明治10年に父・市兵衛、母・かとの長男として生まれました。熊澤家は代々、藤堂藩の藩金御用達を勤める旧家であり父・市兵衛は河原田の村長を務め、小学校建設費の寄付、河原田みかんの奨励などを行いました。河原田小学校には市兵衛の石像が建っています。

一衛は、三重県立津中学校（現在の津高等学校）を中退後、日露戦争に出征、明治39年には四日市製紙に就職しました。入社以来めきめきと頭角を現し、5年で取締役就任しました。たくさんの業種（電力、電鉄、製紙、製材、林業、汽船、化学工業、銀行、倉庫など）に携わり、たくさんの会社の社長、取締役、監査役等重役を務め、「東海の飛將軍」と呼ばれるまでとなります。

市立図書館の寄贈や、伊勢電鉄の設立など四日市の発展に大いに貢献しました。昭和32年の四日市市制60周年の際には功労者の一人として表彰されました。

篤志家として

参考資料：③⑤⑭

●四日市市立図書館の寄贈

昭和天皇御大典の記念事業として新館一棟を寄贈

●「熊澤町」の建設

津市の住宅不足を補うため中産階級向けの住宅を建設

●「三重県熊澤育英会」の設立

●各所への寄付

大正 8年 静岡盲啞学校へ1万円

大正14年 葵文庫設立に5万円（設立費用総額の約1/3）

昭和 4年 三重県立河原田農学校(現在の四日市農芸高等学校)に寄付など・・・

現在は「すわ公園交流館」

一衛が寄贈した建物は、昭和20年代の初めには、戦災負傷者等を収容する病院に転用されたこともありました。昭和48年、現在の図書館の開館とともに一時閉鎖。昭和51年からは児童福祉施設「四日市市子どもの家」に転用され、平成15年には現在の「すわ公園交流館」となり、たくさんの市民に活用されています。

詳しくは裏面にて紹介

きっかけは「校本萬葉集」

大正12年の関東大震災により、信綱が「校本萬葉集」の原稿を焼失したことを、共通の友人である田中光顕から聞き、一衛は激励と援助を申し出ました。

以来、生涯にわたる親交を結ぶようになりました。

文化人として

参考資料：⑮～⑲、⑳

一衛の妻まさの父が佐佐木信綱の父の門下であったため、一衛夫妻も歌をよくしたといえます。信綱とは支援以外にも歌人としての交流がありました。号は「月台」。

●「校本萬葉集」(佐佐木信綱)の刊行の援助 (大正12年)

●「青山余影 田中光顕伯小伝」の編纂(大正13年)

●熊澤一衛遺稿集「月台集」(昭和34年)

一衛死後、娘照子によって刊行される。

●熊澤一衛 年表

| | | | |
|----|----|------|---|
| 明治 | 10 | 1877 | 出生（三重郡河原田村 熊澤市兵衛の長男） |
| | 38 | 1905 | 日露戦争に二等看護長として招集される |
| | 39 | 1906 | 四日市製紙株式会社芝川工場（静岡県）へ入社 |
| | 44 | 1911 | 四日市製紙株式会社にて取締役役に就任 |
| | 45 | 1912 | 四日市製紙と富士製紙の合併に助力 |
| 大正 | 8 | 1919 | 富士電気株式会社にて常務取締役役に就任 |
| | 9 | 1920 | 静岡電力を設立 |
| | 12 | 1923 | 静岡電鉄にて専務、四日市銀行にて取締役等に就任 |
| | 14 | 1925 | 四日市銀行にて頭取に就任 四日市商事（金融/保険）、熊澤殖産（不動産）などを設立 |
| 昭和 | 元 | 1926 | 伊勢鉄道にて社長に就任し、社名を『伊勢電気鉄道株式会社』に改称 |
| | 2 | 1927 | 四日市倉庫運輸株式会社にて取締役社長に就任 静岡から四日市へ移る |
| | 3 | 1928 | 昭和天皇御大典記念事業として「四日市市立図書館 ^(※) 」の新館一棟を寄贈 (翌年の竣工時には図書2000冊も寄贈) ※現在のすわ公園交流館 |
| | 5 | 1930 | 五私鉄疑獄事件の一つとして検挙され失脚 四日市銀行から退陣 |
| | 7 | 1932 | 四日市倉庫運輸株式会社から退陣 |
| | 11 | 1936 | 伊勢電鉄が参宮急行電鉄に吸収合併される |
| | 15 | 1940 | 病没 |
| | 32 | 1957 | 四日市市制60周年の際、功労者の一人として表彰される |
| | 34 | 1959 | 娘、照子により遺稿集「月台集」が刊行される |

熊澤一衛と親交のあった人々

田中光顕（1843～1939）

明治から昭和前期にかけての
陸軍軍人、政治家、官僚。

明治39年、一衛が
四日市製紙株式会社

芝川工場（静岡）勤務の頃、

光顕宅の電気工事の仕事を担当したのをきっかけ
に親交を深めるようになった。光顕の影響で一衛
は歌などを始めることとなる。



佐佐木信綱（1872～1963）

三重県鈴鹿市出身の国文学者、歌人。
万葉集の研究を行う。

一衛とは、「校本萬葉集」の
刊行援助の申出をきっかけに
家族ぐるみの親交を深める。
娘の照子にも手紙等を通して
歌の指導を行った。

一衛死後刊行された「月台集」にも言葉を寄せている。



旧四日市市立図書館

国登録有形文化財（平成15年1月31日登録）参考資料：⑩⑫⑮

現在、諏訪公園内にある「すわ公園交流館」は、昭和3年に一衛によって図書館として寄贈された建物です。鉄筋コンクリート造の2階建、屋上ペントハウス付きで、外壁は褐色のスクラッチタイル張りであり、大正末期から昭和初期に好まれたデザインとなっています。外壁には一衛の号である「月台」を表わした「月で餅をつくうさぎ」のメダイオン（円形の壁面装飾）が飾られています。

文化財として当時の建築意匠を残すとともに、地域の篤志家によって寄付されたという歴史的背景も伝えていくべきものでしょう。

熊澤一衛に関する参考資料

| | 資料名 | 著者／出版社 | 発行年 | 請求記号 | 貸出 |
|---|---|-------------------------|-------|---------|----|
| ① | 四日市市史18巻 通史編 | 四日市市 | 2000 | L223 | ○ |
| ② | 四日市市史19巻 通史編 | 四日市市 | 2001 | L223 | ○ |
| ③ | 東への鉄路 近鉄創世記 下巻 | 木本正次／学陽書房 | 2001 | L936/キ | ○ |
| ④ | 伊勢電・近鉄の80年 | 梶山満／郷土出版社 | 1996 | L686 | ○ |
| ⑤ | 過去から未来へのメッセージ 静鉄グループ百年史 | 静岡鉄道株式会社 | 2020 | L289/ク | × |
| ⑥ | 物流は果てしなく 四日市倉庫の歩み | 榎村一世／四日市倉庫 | 1989 | L683 | ○ |
| ⑦ | わが道ひとすじに 地域開発五十年の回想 | 榎並赴夫 | 1976 | L28/エ | ○ |
| ⑧ | 大樹育つ百年 四日市市制100周年記念 | 四日市市 | 1997 | L223 | ○ |
| ⑨ | 近代四日市の幕開け～郷土の先人たち～ | 四日市市立博物館 | 1997 | L282 | ○ |
| ⑩ | 旧近鉄婦人文化センター（熊澤事務所） 四日市市歴史的建造物（近代建築）調査の記録④ | 歴史的建造物研究会 ／四日市市教育委員会 | 1993 | L522 | ○ |
| ⑪ | 四日市市こどもの家 旧四日市市立図書館 四日市市歴史的建造物（近代建築）調査の記録⑦ | 歴史的建造物研究会 ／四日市市教育委員会 | 1997 | L522 | ○ |
| ⑫ | 三重銀行史 | 三重銀行行史編纂室／三重銀行 | 1987 | L33/87 | × |
| ⑬ | 青山余影 田中光顕伯小伝 | 熊澤一衛／青山書院 | 1924 | 289/ク24 | ○ |
| ⑭ | 月台集 | 熊澤一衛／竹柏会 | 1959 | L911/ク | ○ |
| ⑮ | 書簡が語る交流のあかし 信綱から一衛、そして照子へ | 佐佐木信綱記念館／鈴鹿市 | 2005 | L911/05 | ○ |
| ⑯ | 熊澤家佐佐木信綱関係資料 書簡にみる信綱と熊澤家の交流 | 北川英昭 | 2004 | L911 | ○ |
| ⑰ | 四日市の礎 111人のドラマとその横顔 | 志水雅明／四日市市文化協会 | 2009 | L282/09 | ○ |
| ⑱ | 発掘街道の文学 四日市・楠編 | 志水雅明／伊勢新聞社 | 2003 | L902/02 | ○ |
| ⑲ | 佐佐木信綱の世界「信綱かるた」歌のふるさと | 衣斐賢讓／中日新聞社 | 2008 | L911/09 | ○ |
| ⑳ | 四日市市指定文化財ガイドブック | 四日市市教育委員会 | 2009 | L709/09 | ○ |
| ㉑ | 四日市の文化財 ふるさと文化の源流 | 四日市市立博物館 | 2003 | L709/03 | ○ |
| ㉒ | 酒泉 No.16 | 四日市市立図書館 | 2003 | 配布しています | |
| ㉓ | 昔と今の河原田のガイド | 河原田郷土史研究会 | — | 閲覧できます | |
| ㉔ | 静鉄グループ社内報「Shine」76-83 | 静鉄グループ | 2015- | 閲覧できます | |
| ㉕ | パッション Vol.67 | 四日市市文化協会 | 2020 | 閲覧できます | |

↓国立国会図書館のデジタルコレクションでご覧頂けます。（当館資料ではありません）↓

| | | | | | |
|---|-----------|--------------|------|---|--|
| ⑮ | 中京実業家出世物語 | 赤壁紅堂／早川文書事務所 | 1926 | - | |
|---|-----------|--------------|------|---|--|